

レノウッド ポリッシュボードM

内装壁 標準施工要領

Ver.KLW2209

鋼製下地や木下地に、化粧張りする工法です。

- 特殊な納まりに対応しやすい工法です。
- 対応製品も多く、特に吸音性能に優れています。

設計上の留意点

- 特殊な場所や環境性能を要求される場所は、侵食性などを配慮した設計にしてください。
- 本製品の原材料(木材・セメント)は自然のものであるため、色と質感に多少の差異があります。又、環境の変化により、施工後収縮することがあります。必要に応じて目地を空ける・ジョイナーを入れる等の処置をしてください。

運搬と取扱い

- 運搬、施工中は落下や横倒し等による衝撃を与えないようにし、破損、水濡れに十分注意してください。

保管と環境

反りが発生する場合があります。下記の項目にご留意ください。

- 降雨や降雪の影響を受けないよう、屋内の乾燥した場所に保管してください。
- 水平な場所にたわみの無いよう平らに積み重ねてください。
- プラスター、モルタルなどの左官工事は、早目に完了させ、施工する室内などを十分に乾燥させてください。
- 施工時には、現場の防水・雨じまいが完全に行われ、換気・通風がよく、窓にはガラスがはめ込まれてから施工してください。

施工前

- 配線、配管工事は、捨て張り施工前に完了するように、作業手順を打合わせてください。
- 下地は、施工前に十分点検し、目違い、凹凸、湾曲などがないようにしてください。
- 劣化した捨て張り材は使用しないでください。
- 設備機器の納まりについては、事前によく打合わせてください。
- プラスチック製見切り材、木製回り縁などで納めてください。

加工

- 本製品は木工用の工具を使用してください。
- 切断時の粉じんを十分落としてから張り付けてください。
- 穴あけ、その他の加工は化粧面から行ってください。

施工可能製品

	品番	厚さ(mm)	サイズ(mm)	重量(約kg/枚)	面積比重(約kg/m ²)
レノウッド	LWW-14A	14	300×300	0.9	約 9.8 (比重0.7)
	LWW-14B		450×450	2.0	
	LWW-14C		300×600	1.8	
	LWW-14D		450×600	2.6	
	LWW-14E		300×900	2.6	
	LWW-14F		450×900	4.0	
	LWW-14G		600×900	5.3	
	LWW-14H		900×900	7.9	
	LWW-18A	18	300×300	1.1	約 12.6 (比重0.7)
	LWW-18B		450×450	2.6	
	LWW-18C		300×600	2.3	
	LWW-18D		450×600	3.4	
	LWW-18E		300×900	3.4	
	LWW-18F		450×900	5.1	
	LWW-18G		600×900	6.8	
	LWW-18H		900×900	10.2	
ポリッシュボードM		16	900×900	8.3	10.2
			900×1800	16.6	
		21	900×900	10.9	13.4
			900×1800	21.8	

※ 寸法許容差 厚さ:+1mm 幅:900mm以上は±2mm、900mm未満は±1mm

※ 比重の許容差(JIS規格)は、かさ比重:0.4~0.7です。

下地材・留め付け材の選定

軸組み	木造下地、鋼製下地(JIS A 6517)
捨て張り材	石膏ボード、構造用合板
留め付け材	形状:皿ビス・シンワッシャービス・トラスビス
	間隔:周囲200mm程度 中間部300mm程度

- ビス止めは化粧面より下穴を開けてから留めてください。
- 捨て貼り工法の場合、捨て貼り材と本製品との間に接着剤を使用することで、保持力が上がります。

隅部のおさまり

- プラスチック製見切り材、木製回り縁などで納めてください。

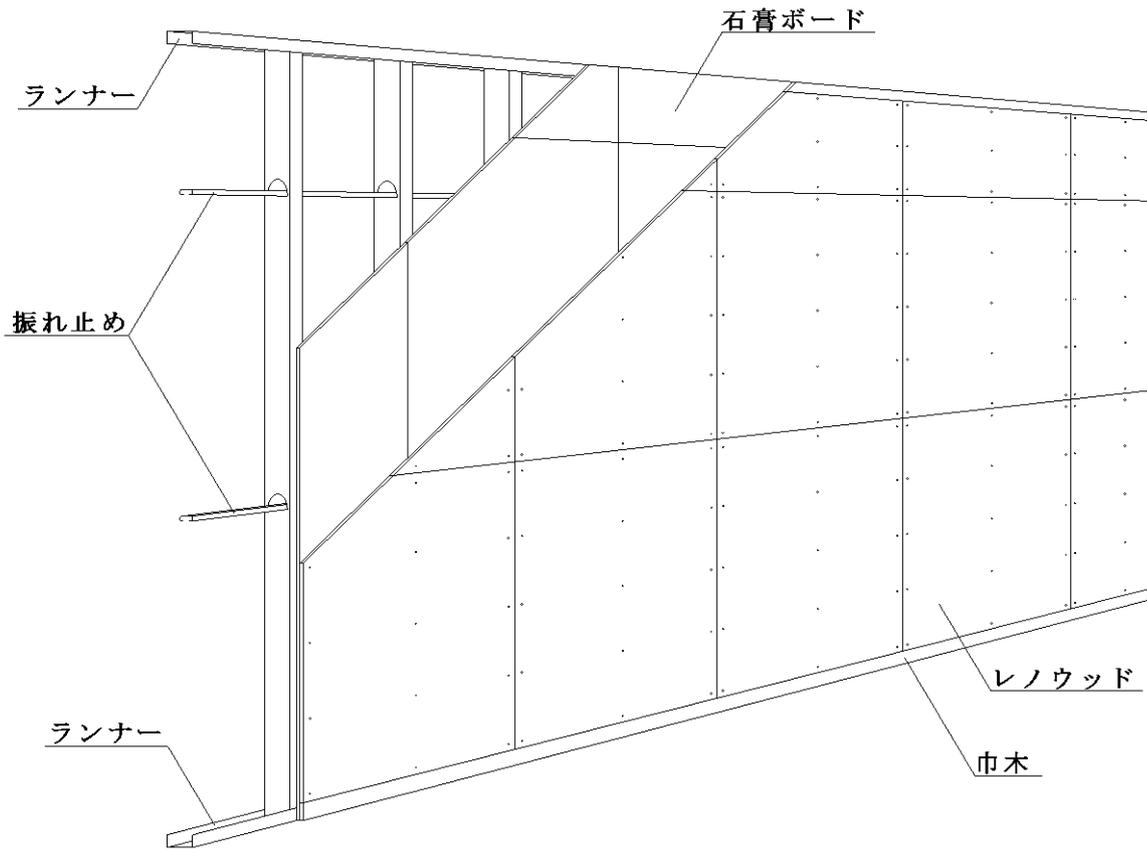
施工後の養生

- 長期間空室にする場合は、室内が高温多湿にならないように、適切な換気を考慮してください。

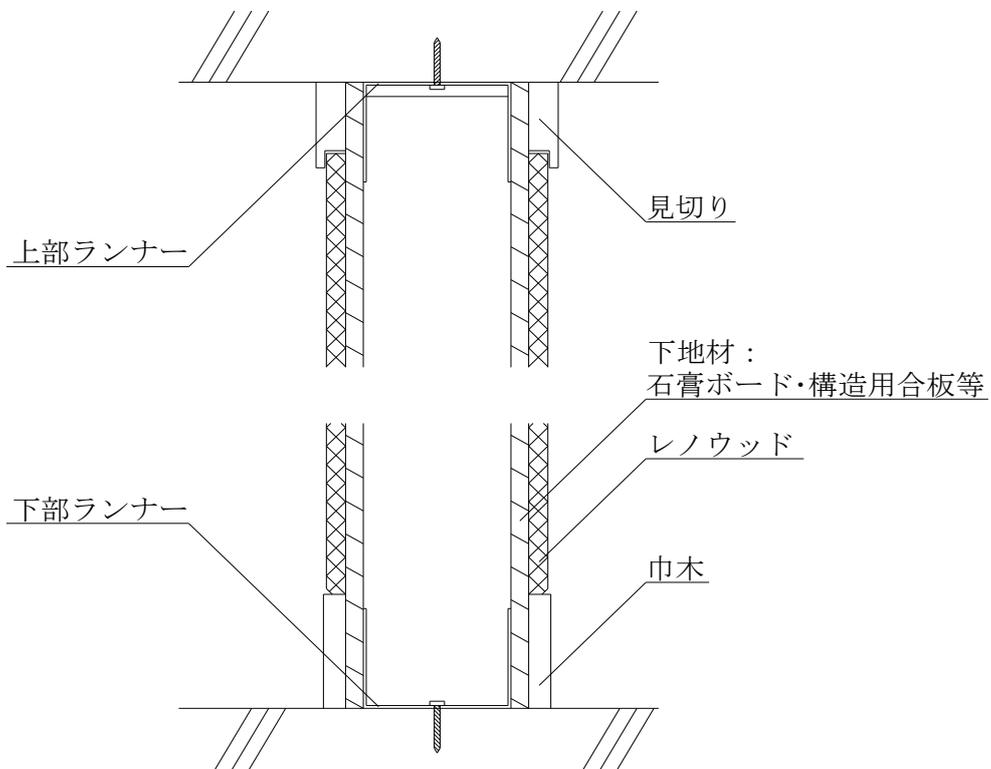
労働衛生上の留意点

- 労働衛生の予防措置として以下のことに留意してください。
 - ・必要に応じて防じんマスク、保護手袋・眼鏡を着用してください。
 - ・粉じんの飛散に留意しながら取扱ってください。
 - ・取扱い後は、うがい及び、手洗いを励行してください。
 - ・本製品を廃棄する場合は「混合廃棄物」として処理してください。

捨て張り工法 ～施工例～



垂直断面図



参考文献

- 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)
- JIS A 6517 建築用鋼製下地(壁・天井)

- ・ 本書の内容は、2022年7月現在のものです。
- ・ 商品等の改良のため予告なしに規格その他を変更することがあります、最新の施工要領書をご確認ください。

この施工要領書は標準的な施工方法であり、軸組み材、捨て貼り材の強度、また、それらの留め付け工法によって、構造耐力性能が異なります。事前に構造耐力上の安全を検証してください。

竹村工業株式会社

H P : <http://www.takemura.co.jp/>
本 社 : 〒399-3301 長野県下伊那郡松川町上片桐4604
TEL 0265-36-6111 FAX 0265-36-6555
長野工場 : 〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島408-9
TEL 0265-36-2900 FAX 0265-36-2929
山口工場 : 〒759-1421 山口県山口市阿東地福上2260-1
TEL 083-952-5011 FAX 083-952-5008